

ブラジルの格下げについて

S&Pがブラジルの長期外貨建てソブリン格付けを引き下げ

大手格付け会社によるブラジル債*の格付け

S&P	BBB- ⇒ BB+ ※ 2015年9月 格下げ
ムーディーズ	Baa2 ⇒ Baa3 ※ 2015年8月 格下げ
フィッチ	BBB

- 米格付け会社S&Pは、ブラジルの政治状況の混乱や財政状況の悪化を背景として、同国の長期外貨建てソブリン格付けをBBB-からBB+へと引き下げました。S&Pは既に7月時点で見通しを安定的からネガティブへと引き下げており、今回の格下げは想定内との見方もされています。S&Pは2008年4月にブラジルを投資適格級へと引き上げていましたが、再び投機的格付けに戻す格好となりました。
- 現時点でブラジルの外貨建てソブリン債を投機的水準としたのは、S&P一社のみで、ムーディーズやフィッチは投資適格級を保っています。そのため、S&Pの格下げの影響は限定的にとどまる公算もあると見られています。

出所：ブルームバーグ 時点：2015年9月10日 *長期外貨建てソブリン格付け



市場への影響と今後の見通し

- 今回のS&Pによる格下げについて、市場では既にその可能性が警戒されていたこともあり、S&Pの発表によって、同国債券価格が急落するような事態には至っていない状況です。
- 弊社では、ブラジルの外貨建て債券について以前より警戒姿勢を保っていましたが、ブラジル政府がプライマリー・バランス目標の下方修正を発表した本年7月以来、より慎重な見方をしています。ブラジル・レアルについては、日欧で低金利が続く中、相対的に高金利通貨である同通貨は魅力的です。ただし、エネルギーが輸出に占める割合が高いブラジルにとって、資源価格が下落した場合、レアルはさらに軟調となる展開も予想されます。

出所：GSAM 上記は2015年9月10日現在の見通しであり、今後変更となる可能性があります。

ブラジル・レアル為替レート (対円、対米ドル)



出所：ブルームバーグ 期間：2000年1月3日～2015年9月9日

Goldman Sachs

Asset Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。))が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。本資料の一部または全部を、(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、(II)弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。

© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <13170-OTU-63626>